

さあ、始めよう！ iDeCo iDeCo+ イデコとイデコプラス

投資信託協会と西日本新聞社は「さあ、始めよう！ イデコとイデコプラス」と題したオンラインセミナーを開催します。「老後資金づくりの最強手段」と称されるイデコ（個人型確定拠出年金、iDeCo）とイデコプラス（中小事業主掛金納付制度、iDeCo+）の導入を応援するセミナー。制度の導入を考えておられる中小企業の経営者や福利厚生担当の方などに役立つ情報をご提供します。

西日本新聞社発行のフリーペーパー「ぐらんざ」のマネー情報コーナー「オーエン」でおなじみのファイナンシャルプランナーとイデコで社員の福利厚生の向上を図る経営者が両制度の魅力とメリット、導入の際の苦労話、それを乗り越え収めた成果についてお話しします。

参加無料
定員200人

日時 2022年1月26日 水
14:00~15:30 (オンライン配信)

参加費 無料
事前に申し込みが必要です

参加方法 下記URL もしくは
二次元コードからお申込みください
<https://n-oubo.com>



※頂きました個人情報は当セミナーに関する実施・運営の目的にのみ使用致します。



アンケート
回答者全員に
もれなく
書籍を
プレゼント

第一部 講演 30分

「老後資金づくりの最強手段、イデコでハッピーな人生を」

▶ 白浜 仁子 さん
(fpフェアリンク代表取締役、オーエン・アドバイザー)



イラスト まきりえこ

第二部 トーク 50分

「イデコプラスで会社は元気に、社員もやる気に」

▶ 有村 光子 さん (南九施設 代表取締役) + 白浜 仁子 さん
司会 = 西日本新聞社ビジネス編集部 長 吉塚 哲



裏面に有村社長のインタビューを掲載



◆ 白浜 仁子 (しらはま・ともこ) さん
2006年、ファイナンシャルプランナー(CFP®)の資格取得。資産運用、住宅ローン、生命保険、相続などのマネープラン全般を女性ならではの目線でコンサル。セミナー、講演・執筆も多数。



◆ 有村 光子 (ありむら・みつこ) さん
住宅メーカーで3年間、経理業務を担当し、1992年3月、鹿児島市の造園会社「南九施設」の社長に就任。会社理念は「庭をアートのように仕立てる。私たちが目指す庭づくりです」

お得な制度「使わないと損」 イデコプラスを導入「経営者に知ってほしい」

●鹿児島市の造園工事会社社長・有村光子さんに聞く

鹿児島市山田町の造園工事会社「南九施設」が昨年、イデコプラスを導入した。全社員がイデコに加入して毎月、投資信託の積み立てをしながら、老後資金づくりに励んでいる。会社を挙げてイデコに取り組む狙いは何か。有村光子社長(52)に聞いた。

(聞き手・吉塚哲、写真・井上圭司)

老後不安がきっかけ

—イデコプラス導入の目的は？

若いうちから社員に投資を体験してもらい、老後の備えをしっかりとやってほしいからです。わが国では、少子高齢化の進展で現役世代の社会保険料負担が増えています。中小企業で働く人たちの手取り額の割合も昔に比べると減っています。社員の老後のことが気になります。—社員の同意はすぐに得られましたか？

いいえ。制度ができた2018年に説明会を開きましたが、理解してもらえませんでした。若手からは「老後のためだけに働くのではない」と戸惑いの声が上がりました。私の“伝える力”が足りなかったと反省しています。

一人一人に節税額示す

—どうやって同意を得たのですか？

イデコを始めたら1年間でいくらか税金が安くなるのか、源泉徴収票を使って社員一人一人に説明しました。65歳までイデコを続けたら、退職金と合わせてどのくらいお金がたまるのか、積み立て投資の複利効果をシミュレーションで説明しました。その結果、多くの社員がイデコに興味を示すようになりました。—始めた時期、会社の拠出金は毎月いくらですか？

昨年6月、事業所登録が完了し、同8月から全社員15人がイデコを始めました。会社の拠出金は最低4000円から、社歴が10年増すごとに2000円プラスします。

—イデコを始めてよかったことは？

社員同士、お金のことを気軽に話し合う機会が増えました。米中対立や新型コロナウイルスの感染拡大で株価が乱高下する中、みんな一喜一憂しています。私は「今は株のバグゼンセール。経済が回復すれば価格は上がるので大丈夫」と励まして



有村光子(ありむら・みつこ)さん 大手住宅メーカーで3年間、経理業務を担当し、1992年3月、南九施設の社長に就任。創業者である夫の政秋氏(63)は専務。息子2人、孫2人

います。

—イデコで苦勞したことは？

苦勞の連続でした。書類が複雑で枚数も多い。署名欄が多くて手続きもややこしい。でも、証券会社の担当者がとても親切な人で、何度も会社に足を運んでいただき、全社員にアドバイスをもらいました。彼女がいなかったら、導入を諦めていたかもしれません。金融機関の役割は重要ですね。

—イデコ以外で社員に勤めていることは？

ふるさと納税はいくらまでできると、これも一人一人に金額を伝えていきます。介護で親を毎月、病院に連れて行く社員には自分の扶養家族にするように勤めました。その結果、所得税が安くなり、喜ばれました。社員には投資に限らず、税や社会保険など金融の知識を身につけてほしいと思います。

お金の知識で幸せに

—なぜ、そこまで熱心なのですか？

私っておせっかいなんです(笑)。社員は私の子供と同じ、大切な存在だから。金融リテラシーを高めて幸せになってほしい。大金持ちにはなれないけれど、金融の知識を養えば平均的な収入の人でも「小金持ち」にはなれるチャンスがあります。

—あらためてイデコやイデコプラスをどう思いますか？

こんなにお得な制度を使わないのは損。その一言に尽きます。多くの経営者に長期投資やこの制度の素晴らしさを知ってほしいです。

—イデコを普及させるためのカギは？

所得税がどのくらい安くなるのか、具体額を示すことが重要。それから、行政には手続きを簡略化していただきたいですね。



南九施設株式会社 1985年3月設立、資本金1000万円。会社理念は「庭をアートのように仕立てる。私たちが目指す庭づくりです。造園工事の完工高(2018年7月～2019年6月)は2億9472万円、鹿児島県内でトップ。

※上記の情報は西日本新聞オーエン 2020年夏号掲載時のものです。

一般社団法人 投資信託協会からのお知らせ

はじめる人のために、つづける人のために。

投資信託協会 チャンネル



YouTube「投資信託協会チャンネル」では、資産形成に役立つ動画を配信しています。



投資信託をこれから始める方に投資信託ガイドブック等をプレゼントしています。ご希望の方は投資信託協会ホームページからお申込みください。



投資信託協会ホームページ <https://www.toushin.or.jp>



一般社団法人
投資信託協会
The Investment Trusts Association, Japan

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階